



# 学校だより

泉佐野市立第三小学校

校長 戸出 克彦

学校教育目標:「進んで学ぶ子ども」「思いやりのある子ども」「がんばる子ども」の育成

## 2学期が始まりました

7月19日(土)から始まった37日間の「夏休み」が終わり、学校には8月25日(月)から元気な子どもたちの声が戻ってきています。

夏休みを振り返りますと、地球温暖化の進行を懸念させる例年以上に厳しい暑さが続く中、線状降水帯に伴う集中豪雨に見舞われたり人里であってもクマに襲われたりする日本各地のニュースが続き、子どもたちが夏休みを無事に元気に楽しく過ごせるようにと祈る毎日でした。

しかし、このような心配は杞憂に終わり、2学期の始業式をたくさんの子もたちと笑顔で一緒に迎えられたこと、心より嬉しく思います。2学期は1年間の中で最も長く、かつ勉強に行事にと中身が濃い学期です。子どもたちが心も体も健やかに成長し、素晴らしい思い出の一つでも多く作れるよう、教職員一丸となって教育活動を進めて参ります。

保護者・地域の皆様には、1学期同様に温かいご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



第三小学校に咲くハスの花

### ◆ 朝礼等で伝えたこと

#### □ 8月6日(水) 平和集会

80年前のこの日、ヒロシマに世界で初めて原子爆弾が落とされました。そして、その年の12月の終わりまでに、今の泉佐野市の全人口(約10万人)よりも多い、約14万人もの人たちが亡くなりました。亡くなった人のうち多くの人たちは兵隊ではありません。皆と同じように、普通の暮らしをしている人たちの当たり前前の幸せが、一発の爆弾で奪われました。

80年後の今、日本は戦争をしていません。しかし、世界では今も戦争が続いています。例えば、ロシアとウクライナは約3年半、イスラエルとパレスチナは約77年間も。さらに、今、世界には約1万発もの核兵器が、いつでも使える状態であるそうです。

今は子どものみんなも、やがて大人になります。だから今日は、知って、考えてほしい。80年前に何があったのか。自分にとっての平和って、どういうことなのか。平和な毎日って、どうやって創るのか。8月は、6日の他に9日や15日にも、テレビやニュースなどで戦争や平和についての話を見たり聞いたりすることが多いはず。だから、この機会に「平和」について、お家の人と一緒に考えてみましょう…と伝えました。

#### □ 8月25日(月) 2学期 始業式

はじめに、1学期終業式で伝えた「目標を立て挑戦し達成できる夏休み」「命を大切にする夏休み」であったか、確認をしました。そして、ことわざ「失敗は成功のもと」を紹介し、2学期は86日間もあるから、一つの事(目標)を決めてコツコツやり続けましょう、と伝えました。

### ◆ 10月以降の時間割変更について ※8月26日(火)『はなまる連絡帳』にて配信済みの内容です。

本校の教育課程は文部科学省が定める年間標準授業時数を大きく上回っているため、10月1日(水)より、全学年の水曜日を4時間授業(13時30分下校)に変更いたします。

年度途中の変更となりご迷惑をおかけしますが、ご理解ご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。

#### 【変更前】

	月	火	水	木	金	土
1年	5	5	5	5	5	3
2年	5	6	5	5	5	3
3年	5	6	5	6	6	3
4年	6	6	5	6	6	3
5年	6	6	5	6	6	3
6年	6	6	5	6	6	3

#### 【変更後】

	月	火	水	木	金	土
1年	5	5	4	5	5	3
2年	5	6	4	5	5	3
3年	5	6	4	6	6	3
4年	6	6	4	6	6	3
5年	6	6	4	6	6	3
6年	6	6	4	6	6	3

### 保護者の方へ ~感染症の予防にご協力ください~

各種報道によりますと、新形コロナウイルス感染症が流行ってきているようです。本校では、感染予防対策として、【換気の確保】【手洗い等の手指衛生指導】【咳エチケットの指導】に努めているところです。

ご家庭でもお気を付けくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

## 保護者や学校関係者等のみなさまへ

こんにちは。文部科学大臣のあべ俊子です。

今、子供たちの自殺は、極めて深刻な状況にあり、特に長期休業明けの前  
後には、子供の自殺者数が増加する傾向にあります。

子供たちの自殺を未然に防ぐには、子供たちの態度に現れる微妙なサイン  
に注意を払うことが重要です。

- ・ これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
  - ・ 成績が急に落ちる
  - ・ 注意が集中できなくなる
  - ・ 身だしなみを気にしなくなる
  - ・ 健康管理や自己管理がおろそかになる
  - ・ 不眠、食欲不振、体重減少などのさまざまな身体の不調を訴える
- といったようなサインが見られたら、不安や悩みの声に耳を傾け、受け止  
めてあげてください。

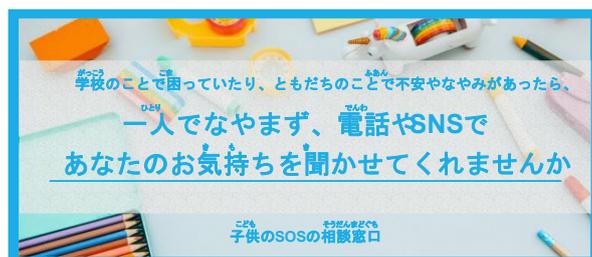
一人一人の声がけが、悩みや不安を和らげることにつながります。

そして、学校関係者のみなさまにおかれましては、不安や悩みを抱える子  
供たちが孤立することのないよう、学校、家庭、地域、福祉部局、警察、医  
療機関などの関係機関で緊密に連携し、地域全体で支援していただきますよ  
うお願いいたします。

文部科学大臣としても、文部科学省一丸となって、こうした不安や悩みに  
寄り添いながら、安心して学べる学校づくりに向けて取り組んでいきます。

## 電話やメール、ネット等の相談窓口

(リンク先には学校や警察、児童相談所等の相談窓口一覧もあります。)



[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/06112210.htm)

令和7年8月

文部科学大臣 あべ 俊子